



平成 23 年度

一般財団法人 日本友愛協会

事業報告書

# 平成 23 年度事業報告

## 目 次

1	はじめに	.....	2
2	概 況	.....	3
3	事業別報告	.....	4
	〈1〉 友愛山荘運営事業	-----	4
	〈2〉 情報等発信事業	-----	7
	①機関誌『友愛』の発行・配布		
	②リーフレット『友愛』の作成・配布		
	③友愛解説冊子『友愛理解のために』の作成・発行		
	④本協会ホームページの作成・更新		
	〈3〉 国際交流事業	-----	8
	①派遣事業		
	②受入事業		
	③交流会事業		
	〈4〉 日中緑化交流基金による中国植林事業	-----	12
	〈5〉 友愛ドイツ歌曲（リート）コンクール開催事業	-----	15
	〈6〉 他団体への協力事業	-----	18
4	業務執行	.....	19
	〈1〉 理事会	-----	19
	〈2〉 評議員会	-----	20
	〈3〉 業務執行報告	-----	20
	〈4〉 運営会議	-----	21

## 1 はじめに

### (設立)

一般財団法人日本友愛協会は、昭和 28 年（1953 年）に結成された友愛青年同志会を母体とし、昭和 34 年（1959 年）に財団法人日本友愛青年協会（所管文部省）として設立された。平成 23 年 4 月に一般財団法人へ組織変更し、また日本友愛協会と名称を変更して現在まで公益事業を継続している。

### (目的)

日本友愛協会は、友愛の設立者鳩山一郎先生の意志を昇華発展させ、友愛社会の実現を目指し、青年及び社会人の積極的交流、人間と人間、自然と人間の共存共生をはかることを念願し創設された。そして、相互尊重・相互理解・相互扶助を三原則とする友愛を基調として、内外の青年、社会人との交流を進め、人間と人間、自然と人間との共生をはかることにより友愛社会の実現と世界の平和に貢献することを目的としている（定款 前文、第 3 条目的より）。

### (公益事業)

現在、本協会は友愛社会実現のため〈1〉友愛活動の原点であり青年の研鑽の場である「軽井沢友愛山荘」の運営事業、〈2〉機関誌『友愛』の発行を始めとする情報等発信事業、〈3〉オーストリア勤労青年連盟（オーストリア国）・中華全国青年連合会（中国）等との国際交流事業、〈4〉日中緑化交流基金による中国植林事業、〈5〉友愛ドイツ歌曲コンクール開催事業、〈6〉中央青少年団体連絡協議会等他団体への協力事業を行っている。

## 2 概 況

平成 23 年度は、公益法人制度改革にともなう一般財団法人への組織変更後最初の事業年度であった。新定款に基づき整理された一般財団法人としての公益事業が同年度事業計画に基づき鳩山邦夫代表理事のもと遂行された。同時に新たに施行された日本友愛協会『会員に関する規程』に基づき新会員制度も発足した。平成 23 年度は 316 名の会員登録があった。

各公益事業は、滞りなく運営された。平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災による本協会事業への影響も甚大なものではなかった。ただし、友愛山荘運営事業における山荘利用者数の低下（前年度比 14%減）は同震災による自粛ムードのもと山荘利用者の足が遠のいたことが原因であると思料する。

- 〈1〉 友愛山荘運営事業においては、平成 23 年度中において総工事費 3 千 5 百万円規模の大規模修繕工事を施工し完了した。また、本年度をもって 7 年間勤務した山荘契約職員 3 名が契約期間満了により退職した。その他、友愛山荘パンフレットを改訂し、新たに山荘紹介カードを作成配布した。
- 〈2〉 情報等発信事業においては、機関誌『友愛』第 511 号～第 516 号を発行した。また、第 401 号から第 500 号までの合本を制作した。
- 〈3〉 国際交流事業においては、派遣事業として第 22 回友愛ドイツ歌曲コンクール優勝者をウィーンに派遣した。受入事業として OJAB 推薦青年 2 名を受入れ東京・広島・京都での研修旅行が行われた。交流会事業として初の試みである日中友愛書家交流会を開催した。
- 〈4〉 日中緑化交流基金による中国植林事業においては、第 2 期アモイ市同安区生態緑化林事業を実施し、また新規事業として第 1 期湖北省孝感市生態緑化プロジェクトに着手した。その他、本年度が植林活動 10 年経過期に当たることから、既植林実施地視察のため視察訪中団を派遣した。
- 〈5〉 友愛ドイツ歌曲コンクール開催事業においては、第 22 回友愛ドイツ歌曲コンクールを開催した（参加者総数 49 名）。
- 〈6〉 他団体への協力事業においては、例年どおり核禁会議等へ役員としての人材の提供、法人会員としての会費の納入等協力を行った。
- 〈7〉 会 員（平成 24 年 3 月 31 日現在）
  - ・平成 23 年度 会員総数 316 名  
（内訳：一般会員 255 名 賛助会員 61 名）
  - ・平成 23 年度 年会費総収入 133 万 1 千円  
（内訳：一般会員年会費 45 万 1 千円、賛助会員年会費 88 万円）

### 3 事業別報告

#### 〈1〉 友愛山荘 運営事業

(定款第 4 条第 1 号、第 2 号に基づく事業)

##### 1) 利用状況

	延べ宿泊人数	総売上金額
平成 23 年度	1,242 人	8,712,233 円
前年度比	14% 減	18% 減

##### 《参 考》

平成 22 年度	1,441 人	10,682,075 円
平成 21 年度	1,316 人	10,087,175 円
平成 20 年度	1,224 人	9,446,185 円
平成 19 年度	1,016 人	6,559,020 円

##### 2) 会計状況

	平成 23 年度	平成 22 年度	前年度比
山荘総売上	8,712,233 円	10,682,075 円	18%減
山荘運営費	10,627,141 円	11,003,287 円	3%減
収支差額	-1,914,908 円	-321,212 円	—

※山荘運営費とは、食材仕入れ・リネン代等施設運営費、山荘人件費、山荘水道光熱費の主だったランニング・コストの総額をいう

##### 3) 平成 23 年度軽井沢友愛山荘補修計画

###### 【経 緯】

東日本大震災の発生を契機に友愛山荘の施設内設備の安全性について再考する必要性が生じた。第 2 回理事会（平成 23 年 6 月 30 日開催）にて平成 23 年度軽井沢友愛山荘補修計画が決議され、総額 3,500 万円の特別予算が計上された。

【完了補修工事内容】

浴室改修及びボイラー交換工事	13,820,000 円
押入防湿塗装工事	353,000 円
食堂改修工事	1,330,000 円
屋根改修工事	17,085,000 円
外壁塗装工事	1,200,000 円
玄関ホールエコガラスコート工事	350,000 円
地デジ対策費用	725,600 円
工事費総額	34,863,600 円

バリアフリーに改装された浴室。  
滑りにくいタイルを使用し、手すりも設  
置。利用者からも好評を得た



屋根の葺き替え。省エネ効果のある素材を使  
用。外壁の塗り替えも済み、緑に映える



脱衣所もバリアフリーに

#### 4) 人 事

平成 17 年より 7 年間山荘職員として勤務した武部慶一（主任・調理担当）、亀田俊子（総務）、武部つね子（調理補助）が平成 23 年 3 月末日に契約期間満了により退職した。

これに代わり、平成 24 年度より工藤登一（主任・調理担当）、宇佐美安都美（総務）、松井良子（調理補助）が勤務する。

#### 5) 広 報

軽井沢友愛山荘パンフレットを改訂した。また新たに友愛山荘紹介カードを作成し郵送及び、東京事務所、鳩山会館等で配布した。

##### 新しい友愛山荘パンフレット



緑に囲まれた友愛山荘のイメージを前面に配した新しいパンフレット。地図も整備されわかりやすくなった。また、改装の済んだ浴室も紹介写真として掲載（三つ折りにして出来上り）

友愛山荘紹介カード  
二つ折り名刺サイズの  
なかに、必要な情報が  
すべて入っている

名刺に添えて紹介する際にも使い易い。また小さく軽便なことから、配布にも便利



友愛山荘利用料金表

	個人利用料金		団体利用料金	
	料 金	人数	10名	10名以上
料 金	1,000円	800円	5,000円	5,000円
会 員	5,000円	2,000円	15,000円	15,000円
学 生	2,000円	600円	5,500円	5,500円

※入浴料は、団体利用時、補助料金として  
+1,000円、+2,000円を標準とする。  
※10名以上の団体利用時は、別途料金にて  
お見積りいたします。お問い合わせください。

383-0104 5軒村1-1-1 友愛山荘 軽井沢120  
Tel. 0267-42-2477

## 〈2〉情報等発信事業

(定款第4条第1号、第6号に基づく事業)

### ①機関誌『友愛』の発行・配布

【平成23年度機関誌『友愛』発行履歴】

平成23年5月(第511号) 8000部 発行(内4000部増刷)

7月(第512号) 4000部 発行

9月(第513号) 4000部 発行

11月(第514号) 6000部 発行

平成24年1月(第515号) 4000部 発行

3月(第516号) 4500部 発行

※第512号より、前編集人鶴巻克雄に代わり発行人川手正一郎常務理事が編集人を兼務することとなった。

【配 布】

会員その他新聞購読希望者(1,343箇所)に郵便で直接配布している。また、軽井沢友愛山荘、鳩山会館等関係各所にて配布している。

【合 本】

第401号から第500号までの合本を制作し、関係各所に配布した。また、国立国会図書館には東京本館、関西館に1部ずつ寄贈した。

### ②リーフレット『友愛』の作成・配布

郵送及び、東京事務所、鳩山会館等で配布した。

### ③友愛解説冊子『友愛理解のために』の作成・発行

郵送及び、東京事務所等で配布した。

### ④本協会ホームページの作成・更新

- ・ 随時、ホームページを更新した。友愛山荘利用者、友愛ドイツ歌曲コンクール参加者に対して多大な情報発信効果が認められた。
- ・ 機関誌『友愛』バックナンバー(第1号～500号)の掲示が完了した。
- ・ 組織変更に伴い、ホームページ・アドレスを <http://yuaikyokai.com> へ、メール・アドレスを [yuai@yuaikyokai.com](mailto:yuai@yuaikyokai.com) へ変更した。



### 〈3〉 国際交流事業

(定款第4条第2号、第3号に基づく事業)

#### ① 派遣事業

【第22回友愛ドイツ歌曲コンクール優勝者のウィーン派遣】

(被派遣者)

内之倉勝哉さん(国立音楽大学大学院博士後期課程在学中)

28歳、埼玉県在住

平成23年度第22回友愛ドイツ歌曲コンクール優勝者

(滞在期間)

平成24年3月10日～3月14日

(コンサート)

平成24年3月12日

ウィーン・モーツアルトホールにてオーストリア勤労青年連盟主催の音楽会に出演し、シューマン『詩人の恋』を約30分間演奏した。

(協力機関)

姉妹団体：オーストリア勤労青年連盟(ÖJAB)

ウィーン滞在中3日間の宿泊先を提供



ÖJABが作成して配布したコンサートのチラシ。派遣員内之倉さんの写真、友愛ロゴマークなどが配されている(写真左)

モーツアルトホールでのコンサート。「詩人の恋」は好評を博した(上)ÖJABシユスラー会長と握手(下)



## 【21世紀東アジア青少年大交流計画2011年訪中団への推薦】

(被推薦者)

大野裕二さん(富津市議、鳩山友愛塾1期修了生)

(期間)

平成23年11月23日～29日

(実施機関)

外務省、日中友好会館

## ②受入事業

### 【オーストリア勤労青年連盟推薦青年の受入れ】

(派遣員プロフィール)

・MISS ASTRID MEIXNER (27歳 女性)

ウィーン大学(2008年卒 専攻:文化人類学)を卒業後、2011年2月にOJABに就職。現在、The working field of ÖJAB seniorsのマネジメント・アシスタントをしている。

・MRS. TANJA PÖCKL (36歳 女性 二児の母)

ドイツ出身、交換留学生としてウィーン滞在中に夫と知り合い結婚しウィーンに定住する。OJABの施設の一つThe ÖJAB-Haus Niederösterreich 2のマネージャーの職にある。

(研修プログラム)

アテンド:羽中田事務局員、田中佐知子さん(友愛塾1期生修了生)

11月11日(金) OJAB派遣員2名来日(成田)

12日(土) 京都見学

13日(日) 京都見学

14日(月) 宮島、広島平和記念公園見学

松井一實広島市長表敬訪問

広島市議森本真治氏の案内

(友愛塾1期修了生)

15日(火) 理事長、副理事長と懇談

国会議事堂見学、歓迎会(川手常務理事)

16日(水) 鳩山会館見学等

17日(木) 東京見学

18日(金) 帰国



鳩山邦夫理事長、鳩山由紀夫副理事長を表敬訪問。印象に強く残ったと感想を述べた



松井一實広島市長と面談。オーストリアの国旗、ウエルカムボードの掲示など、歓迎された



広島平和祈念公園にて  
記念資料館を見学した後、「心が痛む、歴史を  
必ず次代に伝えます」と語った  
左端は、ボランティアで広島における手配を  
全て担当して下さった森本真治広島市議



広島市長にOJABからのメ  
ッセージを伝達。自らの感想を  
交え見事なスピーチを行った



鳩山会館を見学。「ワンダフル！」の  
連続。資料も熱心に見学し、素晴らしい  
日本の歴史だと感想を述べた



懇親会にて川手常務理事と（写真左）  
友愛事務局にて（写真右）左端はボランテ  
ィアで同行してくれた田中佐知子さん

### ③交流会事業

#### 【日中友愛書家交流会】

(会 場) 友愛サロン

(日 時) 平成 24 年 3 月 19 日 (月) 16:00~18:30

(参加者)

- ・青海省文学芸術界連合会代表団  
団長 馬有義 青海省文学芸術界連合会副主席 他 12 名
- ・日本側書家  
在日中国人書家 李文培 先生 他 6 名
- ・日本友愛協会  
鳩山邦夫理事長、川手正一郎常務理事 他 3 名



友愛サロンで記念撮影



鳩山邦夫理事長も公務ご多忙のなか  
時間をさいて出席された



その場で見事な作品を仕上げる代表団  
の方々。落款も持参して仕上げた



川手常務理事が「友」を、李先生が「愛」  
を。二人競作で仕上げた見事な「友愛」

## 〈4〉日中緑化交流基金による中国植林事業

(定款第4条第2号、第4号に基づく事業)

### 1) 植林活動10年経過視察訪中団派遣

(期 間) 平成23年6月14日～6月20日

(訪中団員) 団 長 川手正一郎 常務理事

副団長 福田八州雄 評議員

羽中田元美 事務局員

(視察地) 湖北省柳州 (第1次訪中・第10次訪中)

湖北省武穴 (第3次訪中・第8次訪中)

広西チワン族自治区鹿寨県 (第5次訪中・第7次訪中・  
第9次訪中)

(報 告) 巻末 「植林事業10年経過訪中視察報告書」参照

### 2) 日中青年アモイ市同安区生態緑化林事業 第2期

※2011・国際森林年登録事業

(期 間) 平成23年12月15日～18日

(植林地) 福建省アモイ市同安区安溪

(中国側カウンターパート) 中華全国青年連合会、アモイ市青年連合会

(日中緑化交流基金からの助成金額) 1,150万円

(事業概要)

当事業は、アモイ市の提案する「林の中の町、緑の中の道、庭の中の家、景色の中の人、色とりどりの都市」をスローガンとする国家森林都市計画に賛同し、日中緑化交流基金の助成金を受け中華全国青年連合会、アモイ市青年連合会と共同して実施された。環境重視の港湾都市を建設し、人間と環境とが調和した効率的な経済と生態循環型居住環境を追求し、安全で快適な生活環境を作り出すことを目的としている。

当事業は、現地重点生態風景区の劣性林地改造事業と密接に連携し、単一樹種から多様樹種への改造、単層林から多層林への改造、森林地帯の回復、生物多様性の強化を実現し、多層的で立体的な構造をもち安定的に成長する抵抗力の強い森林群落の形成の実現を目指す。

(植林面積) 計54.1ヘクタール

(植樹種) 計67,761本

土球苗木：山杜英2,172本、香樟2,379本、楓香2,727本

容器苗木：山杜英 14,514 本、香樟 6,883 本、楓香 6,271 本  
千年桐 16,683 本 海南蒲桃 3,070 本 麻棟 3,062 本

(訪中団員)

団長川手正一郎常務理事、福田八州雄評議員、井之輪豪事務局次長  
原俊子事務局員、苗代彩夏さん（立教大学 鳩山友愛塾 2 期修了生）

二〇一一年・国際森林年登録事業  
として実施。ポスターを手に



景観用の樹種も植樹された

地元メディアも注目。TV、新聞などが取材。広報効果大



地元特産の銘石を使った記念碑

植林予定地。今後地元の人々  
によって植林が進み緑の山に



地元の学生がボランティアで参加

### 3) 日中青年孝感市生態緑化林プロジェクト 第1期

(期間) 平成24年2月21日～25日

(植林地) 湖北省孝感市

(中国側カウンターパート) 中華全国青年連合会、孝感市青年連合会

(日中緑化交流基金からの助成金額) 960万円

(事業概要)

当事業は、日中青年湖北省シキ県生態緑化プロジェクトの後継事業である。植林地の孝感市は中国湖北省管轄下の地方都市であり、湖北省の東北部、揚子江の北、漢水の東に位置する。当地は近年の工業発展に伴う開発により環境問題が生じており、当事業の実施は孝感市衛店鎮の原生樹種の保護、植物の多様性の維持及び住民の生活環境の改善に重要な役割を果たす。

(植林面積) 計45ヘクタール

(植樹種) 計72,000本 内訳：水杉36,000本、池杉36,000本

(訪中団員)

団長 川手正一郎常務理事、福田八州雄評議員、戸澤英典評議員、木村正治評議員選考委員、羽中田元美事務局員、原俊子事務局員、栗原幸雄さん、栗原満喜子さん、川手祥右さん(高校生)

雨の中、孝感市の学校生徒、市役所職員など多数が参加



木々の成長は日中友好の成長ですと川手団長が挨拶



カウンターパート中華全国青年連合会を訪問(北京)



最年少参加者川手祥右さんも、頑張って苗を植える



## 〈5〉友愛ドイツ歌曲（リート）コンクール開催事業

(定款第 4 条第 2 号、第 5 号に基づく事業)

### 【文部科学大臣賞第 2 2 回友愛ドイツ歌曲（リート）コンクール】

(日程・会場)

第一次予選会 10月20日(木) 文京区シビックホール 小ホール

第二次予選会 11月 4日(金) 旧東京音楽学校奏楽堂

本選会 12月14日(水) 同上

(応募資格) 平成 23 年 4 月 1 日現在 満 18 歳～35 歳の者  
学歴、国籍は問わない

(関係機関)

協力：オーストリア勤労青年連盟(ÖJAB)

後援：文部科学省、外務省、オーストリア大使館、ドイツ連邦共和国大使館、日唄文化協会、社団法人日本演奏連盟 協賛：ヤマハ株式会社  
河合楽器製作所、日本 R.シュトラウス協会、音楽之友社

(参加者募集・選考経過)

募集要項を平成 23 年 6 月頃より全国の音楽大学、音楽関係団体に郵送、ホームページにて告知し、平成 23 年 9 月 16 日～10 月 7 日までの間、受付を行った。

応募者総数 計 49 名 (一般 42 名、学生 7 名)

第一次予選出場者：48 名 (一般 41 名、学生 7 名)

[ソプラノ 31 名、メゾ・ソプラノ 7 名、テノール 5 名、バリトン 5 名]

第二次予選出場者：24 名 (一般 21 名、学生 3 名)

[ソプラノ 15 名、メゾ・ソプラノ 3 名、テノール 2 名、バリトン 4 名]

本選会出場者：11 名 (一般 8 名、学生 3 名)

[ソプラノ 5 名、メゾ・ソプラノ 1 名、テノール 1 名、バリトン 4 名]

(本選会入場者数) 約 216 名

(審査員)

コンラート・リター 元シュトゥットガルト音楽大学学長 (本選会)

朝倉蒼生 東京芸術大学教授 (欠席)

高橋啓三 東京音楽大学教授 (1 次、2 次、本選会)

菅英三子 東京芸術大学准教授 (1 次、2 次、本選会)

ヨリアーハルチ 武蔵野音楽大学講師・ドイツ語発音法 (1 次、2 次、本選会)

長島剛子 国立音楽大学准教授 (2 次、本選会)

小松英典 元ブレーメン音楽大学教授 (2 次、本選会)

本島阿佐子 国立音楽大学専任講師 (1 次予選会)

島崎照代 日本友愛協会参与・実行委員長 (1 次、2 次、本選会)



(本選会出場者)

1. 石川奈津子 ソプラノ (学生の部) 22歳 東京芸術大学在学中  
ピアノ 森 良平
2. 高田 慧一 バリトン (学生の部) 23歳 東京芸術大学在学中  
ピアノ 川口 成彦
3. 松原みなみ ソプラノ (学生の部) 21歳 東京芸術大学在学中  
ピアノ 江沢 茂敏
4. 山本有希子 ソプラノ (一般の部) 34歳 武蔵野音楽大学卒業  
ピアノ 森川由美子
5. 橘田 有美 ソプラノ (一般の部) 28歳 東京芸術大学大学院在学中  
ピアノ 千葉かほる
6. 朝倉 春菜 ソプラノ (一般の部) 24歳 東京芸術大学大学院在学中  
ピアノ 千葉かほる
7. 土橋 創 バリトン (一般の部) 26歳 武蔵野音楽大学大学院修了  
ピアノ 岡 陽子
8. 森 孝裕 バリトン (一般の部) 34歳 大阪音楽大学専攻科修了  
ピアノ 竹村美和子
9. 明珍宏和 バリトン (一般の部) 26歳 東京音楽大学卒業  
ピアノ 高橋きよみ
10. 金原美里 メゾ・ソプラノ (一般の部) 30歳 東京音楽大学大学院・  
ウィーン国立音楽大学修了  
ピアノ 渡辺知子
11. 内之倉勝哉 テノール (一般の部) 27歳 国立音楽大学大学院博士課  
程在学中  
ピアノ 斎藤亜都沙

以上11名

(本選会結果)

文部科学大臣賞・第1位	内之倉勝哉
第2位・聴衆者賞・日本歌曲賞	金原美里
第3位	朝倉春菜
奨励賞 (学生の部)	松原みなみ
共演者賞	渡辺知子
入 選	石川奈津子 土橋創 山本有希子 橘田有美 高田慧一 森孝裕
日本R・シュトラウス協会賞	明珍宏和 該当者なし

(表彰式)

表彰式は、聴衆者賞受賞者金原美里さんによるアンコール演奏の後会場にて行われた。表彰式の初めに本協会理事長鳩山邦夫が主催者を代表して挨拶を行った。続いて結果発表、賞状授与を同じく理事長が行った。

表彰式に引き続き、本協会島崎照代実行委員長から審査員の紹介がされ、審査員を代表して東京音楽大学教授高橋啓三審査員が講評を行った。

(実行委員)

実行委員長：島崎照代評議員

統括責任者：井之輪豪事務局次長

羽中田元美事務局員 原俊子事務局員 稲見裕美事務局員

有志実行委員

：松川俊子 岩井和子 川本輝世 松村衣梨 柏井優  
橋谷田智史 山田結花 阿賀陽子



第一位 内之倉勝哉さん



第二位 金原美里さん



第三位 朝倉春菜さん



奨励賞 松原みなみさん



共演者賞 渡辺知子さん



## 〈6〉他団体への協力事業

(定款第4条2号、7号に基づく事業)

- 1) 鳩山友愛塾への協力
  - ・井上和子評議員長が同塾塾長、鳩山邦夫理事長および鳩山由紀夫副理事長が同塾塾長代行を務める。
- 2) 社団法人中央青少年団体連絡協議会への協力
  - ・同協議会会員として参加する。
  - ・萩原直三評議員が同協議会の理事を務める。
- 3) 核禁会議への協力
  - ・同会議会員として参加する。
  - ・谷藤悦史評議員が同会議議長代行を務める。
  - ・萩原直三評議員が同会議理事を務める。
- 4) 財団法人尾崎行雄記念財団への協力
  - ・同財団会員として参加する。
  - ・鳩山邦夫理事長が同財団理事を務める。
  - ・鳩山由紀夫副理事長が同財団理事を務める。
  - ・萩原直三評議員が同財団常務理事を務める。
  - ・谷藤悦史評議員が同財団評議員を務める
- 5) NPO 法人日本補助犬協会への協力
  - ・東京事務局及び、軽井沢友愛山荘内に募金箱を設置する。
  - ・鳩山由紀夫副理事長が同協会の名誉顧問を務める。
- 6) 一般社団法人日本けん玉協会への協力
  - ・同協会主催「第9回 けん玉ペインティングコンテスト」に「日本友愛協会賞」および「団体賞」を提供し、賞金として総額6万4千円を拠出した。川手正一郎常務理事が表彰式に出席し同賞を授与した。
  - ・奥住壽監事が同協会の専務理事を務める。

日本友愛協会賞 受賞者に授与された  
賞状。受賞作品がカラーで印刷された独  
創性あふれる賞状



## 4 業務執行

### 〈1〉 理事会

#### 第1回臨時理事会

開催日：平成23年4月8日（金）

場 所：友愛サロン

議 題：平成23年度事業計画、平成23年度予算、新法人における運営方針、役員選出、名誉職選出、理事会運営規程改正、平成23年度軽井沢友愛山荘補修工事

内 容：議案が審議され、全議案原案どおり可決された（詳細は第1回臨時理事会議事録参照）。

#### 第2回通常理事会

開催日：平成23年6月30日（木）

場 所：友愛サロン

議 題：平成22年度事業報告、平成22年度決算報告、平成23年度軽井沢友愛山荘補修計画、同補正予算の作成

内 容：提出議案が審議され、全議案原案どおり可決された（詳細は第2回通常理事会議事録参照）。平成23年度第1回業務執行報告

#### 第3回通常理事会

開催日：平成24年3月22日（木）

場 所：友愛サロン

議 題：平成24年度事業計画、平成24年度予算、設立60周年記念式典、名誉役員委嘱、平成24年度業務執行方法

内 容：提出議案が審議され、全議案原案どおり可決された（詳細は第3回通常理事会議事録参照）。平成23年度第2回業務執行報告

## 〈2〉評議員会

### 第1回臨時評議員会

開催日：平成23年4月8日（金）

場 所：友愛サロン

議 題：評議員長の選任、平成23年度事業計画、平成23年度予算、  
新理事会運営規程改正

内 容：議案が審議され、全議案原案どおり可決された  
（詳細は第1回臨時評議員会議事録参照）。

### 第2回定時評議員会

開催日：平成23年6月30日（木）

場 所：友愛サロン

議 題：平成22年度事業報告、平成22年度決算報告、平成23年度  
補正予算の作成

内 容：提出議案が審議され、全議案原案どおり可決された  
（詳細は第2回定時評議員会議事録参照）。

### 第3回臨時評議員会

開催日：平成24年3月22日（木）

場 所：友愛サロン

議 題：平成24年度事業計画、平成24年度予算、理事選任

内 容：提出議案が審議され、全議案原案どおり可決された  
（詳細は第3回臨時評議員会議事録参照）。

## 〈3〉業務執行報告

### 平成23年度第1回業務執行報告

報告日：平成23年6月30日（木）第2回通常理事会

報告者：代表理事鳩山邦夫、業務執行理事鳩山由紀夫、  
業務執行理事川手正一郎、業務執行理事鶴巻克雄

### 平成23年度第2回業務執行報告

報告日：平成24年3月22日（木）第3回通常理事会

報告者：代表理事鳩山邦夫、業務執行理事鳩山由紀夫、  
業務執行理事川手正一郎

#### 〈4〉運営会議

##### 第1回運営会議

日 時：平成23年5月24日(火) 午前10時～午前12時

出席者：鳩山邦夫理事長 鳩山由紀夫副理事長  
川手正一郎常務理事 鶴巻克雄常務理事  
奥田吉郎理事 武田記念男理事  
奥住壽監事 長田正太郎監事

場 所：友愛サロン

##### 第2回運営会議

日 時：平成23年6月10日(金) 午前10時～午前12時

出席者：鳩山邦夫理事長 鳩山由紀夫副理事長  
川手正一郎常務理事 鶴巻克雄常務理事  
奥田吉郎理事 武田記念男理事  
奥住壽監事 長田正太郎監事

場 所：友愛サロン

##### 第3回運営会議

日 時：平成23年7月22日(金) 午前10時～午前12時

出席者：鳩山邦夫理事長 鳩山由紀夫副理事長 川手正一郎常務理事  
奥田吉郎理事 武田記念男理事  
奥住壽監事 長田正太郎監事

場 所：友愛サロン

##### 第4回運営会議

日 時：平成23年9月16日(金) 午前10時～午前12時

出席者：鳩山邦夫理事長 鳩山由紀夫副理事長 川手正一郎常務理事  
奥田吉郎理事 武田記念男理事  
奥住壽監事 長田正太郎監事

場 所：友愛サロン

##### 第5回運営会議

日 時：平成23年10月21日(金) 午前10時～午前12時

出席者：鳩山邦夫理事長 鳩山由紀夫副理事長 川手正一郎常務理事  
奥田吉郎理事 武田記念男理事  
奥住壽監事 長田正太郎監事

場 所：友愛サロン

##### 第6回運営会議

日 時：平成23年11月18日(金) 午前10時～午前12時

出席者：鳩山邦夫理事長 鳩山由紀夫副理事長

川手正一郎常務理事  
奥田吉郎理事 武田紀念男理事  
奥住壽監事 長田正太郎監事

場 所： 友愛サロン

第7回運営会議

日 時： 平成23年12月22日（木） 午前10時～午前12時

出席者： 鳩山由紀夫副理事長  
川手正一郎常務理事  
奥田吉郎理事 武田紀念男理事  
奥住壽監事 長田正太郎監事  
(鳩山邦夫理事長秘書藤井雅義氏)

場 所： 友愛サロン

第8回運営会議

日 時： 平成24年1月20日（金） 午前10時～午前12時

出席者： 鳩山邦夫理事長  
川手正一郎常務理事  
奥田吉郎理事 武田紀念男理事  
奥住壽監事 長田正太郎監事

場 所： 友愛サロン

第9回運営会議

日 時： 平成24年2月17日（金） 午前10時～午前12時

出席者： 鳩山邦夫理事長  
川手正一郎常務理事  
奥田吉郎理事 武田紀念男理事  
奥住壽監事 長田正太郎監事

場 所： 友愛サロン

以上

毎月開催された運営会議

